

定着支援研修 Ⅱ

2018年12月更新 Ver1.3



講師：北村尚弘（働くしあわせプロジェクト）

研修②の目的

研修①では定着を実現するポイントとして、以下のことを学びました。

- 1) 定着は就業者、雇用現場、支援者の3者がひとつのチームになり実現する
- 2) 就職前の押さえどころと就職後の押さえどころを意識する
- 3) 情報の開示と非開示のポイントを意識する
- 4) 定着支援の効果的なタイミングとやり方意識する

本日の研修②では、キラパタを利用した定着支援のあり方を、グループ内でのディスカッションとロープレを通じて、習得して頂きます。

大切なことは、支援時に発生する問題を丁寧に捉えながら、知識や経験則から出る正解を押し付けるのではなく、現場や就業者、時には他の支援者の力を借りながら、**一緒に解決を目指すチームを組み立てる**ことです。

活躍のアイデア会議 ディスカッション

【25分間】

宿題のシートを使って、グループで情報を交換します。
発表は「実施しての成果<良かったこと>」「実施しての成果<課題>」
「実施しての感想」ごとに全員発表後、意見交換をします。
他人の経験も自分のものとし、経験値を引き上げましょう。



キラパタ ロープレ

【16:00迄】

- 1) 配布するテーマを見て、グループで次のディスカッションをします
 - ・テーマにおける問題は何か考える
 - ・どのキラパタを処方することでクリアできるか考える
 - ・課長を納得させるアプローチ方法を考える
- 2) ロープレ担当を2名決めて、ロープレ席で実践してください
- 3) 合格判定が出たら次のテーマに進みます、全部で3テーマあります
- 4) 不合格の場合は、再度自席で話し合ってから、再チャレンジします
- 5) 1回あたりのロープレ時間は5分までとします
- 6) 相手の人事課長とは信頼関係がある程度できている前提で結構です
- 7) ラポールは不要で、本題からスタートして結構です
- 8) 目指すゴールは人事課長に「キラパタを使って今の問題を解決できそうだ」と思わせることです
- 9) ロープレ担当はテーマごとに変わってください
- 10) 最後のテーマをクリアすることだけが目的ではありません
何が目的なのかはぜひ考えてみてください
- 11) 休憩時間はグループで自由にお取りください

感想 共有

【15分間】

本日のディスカッションやロープレを通じて、学んだこと、気づいたこと、今後大切にしたいことをグループで共有しましょう。
16:15から全体共有をしますので、各グループの発表者も決めておいてください。



定着支援 川崎モデル

- 1) 就業者、雇用現場、支援者の3者でひとつのイメージを共有する
【就労定着の方程式、共有メンタルモデル】
- 2) 就業者はセルフケア、雇用現場は多様性受容、支援者はサポートの責を負う
【K-STEP、キラパタ】
- 3) 支援者は就職前の育成範囲と就職後の支援範囲、また情報の開示・非開示の基本スタイルを同組織内で検討し、意見交換する
【自社の支援スタイルの確立（多様なスタイルがあってよい）】
- 4) 3者の合計10点を実現する出会いの場を創出する
【就労定着ダイアログ】
- 5) 本人の活躍を共通目標にしたチームビルドをする
【活躍のアイデア会議】
- 6) 多様な人たちが輝く就労定着を共創する
【キラパタ】

最後に・・・

全2回の研修、お疲れさまでした。

1回目でもお伝えした通り、実際の定着支援では生活課題なども多く出る中で、川崎市としてこの研修では「K-STEP」や「キラパタ」を使った内容に特化してお伝えして参りました。

今回のセミナーが少しでも役に立ち、皆様のご活躍により、障がいのある方自然に働ける社会が実現できますことを、心より祈念しています。

